

道教組

2019年4月1日発行

DOKYOSO NEWS VOL.541

教職員とその家族を守る
全教自動車保険

5つの特徴

- ①無事故割引を引き継ぎます
- ②団体扱い割引を10%に拡大
- ③家族の車もまとめるとさらに割引
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

有限会社 川上企画

(道教組指定代理店)

札幌市中央区大通西12丁目4-78
TEL:0120-222-789 FAX:011-218-2472

……道教組定期大会1日目集中討論から……

私たちは集う「仲間」を増やしていく

道教組第32回定期大会1日目、2018年度の運動の総括と2019年度運動の方針の提案に基づいて、集中討論「道教組の組織強化、今後の道教組運動発展に向けて」を行いました。延べ13本の発言がありました。発言をいくつかの観点にまとめながら振り返りましょう。

教職員組合運動を

デザインする

2016年には道教組・高教組が意識調査をしています。教職員組合運動は、ややもすると「古い」「固い」「わかりにくい」と言われてしまうこともあります。「頼もしい」とかと同じくらいにこうした見方もあることは事実です。こうした中で、「組合をどう『魅せるか』」「私たちが悲観的にならずどうポジティブになるか」という発言がありました。

・闘い方はそれぞれ。「闘う」って言葉にも拒否反応がある。言葉の印象、使い方や、魅せ方を考える必要がある。【上川】

・組合づくりの学習をした際に「魅せ方」が話題になった。発信するとか見え方が…というのは目からうろこだった。そういうことが、組合づくりに必要なと感じた。【網走】

・最近、組合アレレギーっていうことを聞かなくなりました。30年やってたらそうなるのかもしれない。それ以上に、組合という



おことわり

集中討論のメモをもとに原稿にしました。発言趣意と異なる場合はお詫言します。また、各発言については「単組・連絡会 専門部」でまとめさせていただきました。

ものが知られていない。【渡島】
・今年は10名退職する。一方で、来以降は大きな退職はない。これからは、増やした分だけ増やしていく！【釧路】

「組織とは何か」を学びたい！

「運動」とか「組織する」とか、よく使いますが、「それってどういうことが改めて学びたい！」という発言がいくつもありました。道教組として組合づくりを学ぶ機会をどう設けるかという発言もありましたね。

・4月の学習集会は大賛成。その後も継続的にできれば。【上川】

・「ひとりひとりの立ち居振る舞いが組合活動なんだ。」の、その先を見つめた組合づくりを考えないといけない。だから組合づくりの学習が大切。【網走】

・組織論を学ぶ必要性があるのではない。コミュニティ・オーガナイズングとか。【上川】

・組織の中でどう力をつけるか。教職員組合が市民とどう運動でつながるか。
・組合の枠にとどまらず、オルグということを学ぶこともできるかも

しれない。【いぶり】

学校づくりや子どもたちを語る教育運動

道教組が掲げている「協力・共同の学校づくり」を具体化するこ

・組合が自分たちの子どもたちの教育をよくするために活動していく。そして、信頼を勝ち得る。【いぶり】

豆知識「コミュニティ・オーガナイズング (Co)」とは

市民の力で自分たちの社会を変えていくための方法であり考え方です。オーガナイズングとは、人々と関係を作り、物語を語り立ち向かう勇気をえて、人々の資源をパワーに変える戦略をもってアクションを起こし、広がりのある組織を作りあげていくことで社会に変化を起こすことです。

そして、普通の市民が立ち上がり、それぞれが持っている力を結集して、コミュニティの力で社会の仕組みを変えていくのが、COです。市民主導で政府、企業などさまざまな関係者を巻き込みながら、自分たちのコミュニティを根本からよくすることを目指します。

COは、「先行き不透明な状況の中、人々が目的を達成できるよう責任を引き受けるリーダーシップ」と言うこともできます。リーダーシップと言うと、カリスマ性のある限られた人にだけ与えられた特別なものと思われがちです。しかし、オーガナイズングでは、人は誰でもリーダーであると考えます。

公式ホームページより抜粋 <http://communityorganizing.jp/>

・学校づくり上の課題や具体的解決策について、話題にしたり発言したりできることが道教組の組合員として大事。【後志】

教育研究運動を柱に据えて…

教職員組合として、教育研究運動を組織すること、そこに集うことでつながりが豊かになっていくことが具体例を含めて語られました。

・民間教育運動との共同。楽しそうなワールドワークを組合と民教でやる。「みんなに楽しそう」「よし組合入ろう」「やっているうちに楽しいし」ってのもひとつのやり方。勉強・教文というのを絡めながらやる。【いぶり】

・いぶりに共感。学びの場を提供する。民教とつながっているとか。高教組と連携とか。年の「はるがく」。100人くらい講演に来ていて。高教組は若い先生を連れてきて組織の拡大にしている。【障教部】

・教育実践を大切にしていること。組合づくりの大きな部分でないだろうか。【網走】



こんな方法もあるよ

現実問題としての財政を頭の隅におきながら、「運動を進めていく」という点で思い切って挑戦してみる視点が出されました。facebookやLINEグループの活用には大きなヒントがありそうです。

・形に起こそうと思ったら、お金をかけるところはかけないといけない。【障教部】

・facebook、LINEグループ、

SNSに打って出る。【いぶり】

・組合としてつながりをスマホを使って…。全教としてアプリを作ってくれたらいいな。【宗谷】

私たちが、集まろう！

単組間で、どうつながるか。私たちが「集う場」を自分たちで興していくことへの期待も語られています。

・単組交流を。1月の学習会、宗谷から来てくれた。同じような形ですすめていきたい。【網走】

・みなさんと集う場があるから全道・全国に出掛けられる。そこに信頼がある。昨年、宗谷と交流ができた。今年も全道行脚をしたい。【青年部】

ドキドキするけど、

声をかけよう！

新たな仲間を迎えるためには「声かけ」が必要です。全教の資料では「今まで誘われなかったから入ってなかった」という新規加入者の声が紹介されています。みんなが組合づくりを考えると、少しずつ勇気が出てくるものです。

・自分たちが魅力的であること。信頼が生まれるから。【青年部】

・「この先生といっしょに働きたい」と思われる先生になりたい。

【網走】

・組織拡大は心のハードルが高かったけど、うち砕いていかなきゃいけない意識になった！

【渡島】



私たちは

「仲間」を増やしていく

開会宣言でも紹介した「増やしているのは『数』じゃない。『仲間』だ」ということば。組合づくりに対して、組合に集う仲間とともに未来に向かうということ、みんなが考え合うきっかけとなることです。私たちは共に集う「仲間」を増やしていくということが、様々な視点から語られました。

・つながったあとが大事。つながっている意識、感覚ってどうやってつかむのか。【宗谷】

・苦勞ばかり、負担をかけるのと脱退してしまう。過度な負担があつてつらくなる。助けてくれる人がいない。連絡つかなくて…ストレスに。そこを支えていく必要がある。【渡島】



・「組合費払ったら何してくれるの?」「そうじゃなくて、いっしょにつくるんだよ」それが「仲間づくり」。そしてそれは、組合の方針、子どもに対する理解など発信を共にする大事な「仲間づくり」の取り組みになる。【檜山】

あとがき

「組合はなかよし集団じゃない」という言葉があります。全教札幌からは「私たちは絶対的少数。たたかい方を工夫しないと勝てない。」という発言もありました。生活や権利を守ることは職員団体としての根底にあるものです。そういう意味では、各単組が各教育局とそれぞれの伝統を持ちながらどんな

ふうにかかわりを持っていくのかということも興味深いテーマではあります。今回の集中討論は、私たちが受け継いできた道教組運動について改めて確信を持つ機会になりました。檜山から次のような発言がありましたね。「3月の忙しい時期に札幌に集まれるみなさんには、『集まる』っていう思いがある。そういう思いがこれからに伝わった方がいい。」と。少しずつ未来が見えた気がしませんか？

これからの北海道の全教運動に集う仲間を増やすことを大切にしながら、豊かな教育運動を進めましょう。

退職組合員激励会

定期大会1日目の夜に、退職組合員激励会を行いました。退職される方、次のステージに進まれる方の、6名のお話は、改めて道教組のすばらしさをたしかめ合うものでした。6名の先生方、ありがとうございました。

